Ｎｏ．５９９４２０－１

（報告－０１／０６）

分析報告書

２００６年１１月１０日

アルプス株式会社
企画　御中
（御担当　金子　様）

株式会社 カネカテクノリサーチ
材料分析センター第３グループ

所属長	担当者		

件名	木工用アルプスボンド（ＡＢ４０ＢＳ）の放散試験	点数	１　点

２００６年１０月２５日ご依頼の件につき、以下ご報告申し上げます。

1. 放散試験結果を次頁以降に示します。
測定は、JIS A 1901：2003
「建築材料の揮発性有機化合物（VOC），ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及び他のｶﾙﾎﾞﾆﾙ化合物放散測定方法-小形ﾁｬﾝﾊﾞｰ法」
に準拠して実施しました。

2. 添付資料
添付資料１　HPLC ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾑ（上から：木工用ｱﾙﾌﾟｽﾎﾞﾝﾄﾞ（AB40BS）１日目、ﾄﾗﾍﾞﾙﾌﾞﾗﾝｸ、標品 0.1ppm）
添付資料２　ﾄｰﾀﾙｲｵﾝｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾑ（上から：木工用ｱﾙﾌﾟｽﾎﾞﾝﾄﾞ（AB40BS）１日目、ﾄﾗﾍﾞﾙﾌﾞﾗﾝｸ、標品 100ng）

本報告に対するお問い合わせは下記営業担当者にご連絡下さい。

営業　担当者　山本　哲郎（東京営業所）
住所　〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-3-8 共同ビル（昭和）9F
ＴＥＬ．　０３－５２０４－８２９３
ＦＡＸ．　０３－５２０４－８２９４
ＵＲＬ　ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｋｔｒ．ｃｏ．ｊｐ
ＭＡＩＬ　ｙａｍａｍｏｔｏ@ｋｔｒ．ｃｏ．ｊｐ

技術　担当者　佐藤　勝二（材料分析センター　第３グループ）
住所　〒５６６－００７２　摂津市鳥飼西５－１－１
ＴＥＬ．　０７２－６５３－８３０３
ＦＡＸ．　０７２－６５３－８３０４
ＭＡＩＬ　ｋａｔｓｕｊｉ＿ｓａｔｏ@ｋｎ．ｋａｎｅｋａ．ｃｏ．ｊｐ

a) 試験機関

a)	試験機関名	株式会社　カネカテクノリサーチ
	所在地	〒566-0072　大阪府摂津市鳥飼西 5-1-1
	試験責任者	佐藤　勝二

b) 製品の種類

b)	製品の種類(製品名)	木工用アルプスボンド(ＡＢ４０ＢＳ)	製品番号	－
	ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ方法	－		
	製造年月日	試験機関到着日	試験開始日	試験終了日
	－	2006 年 10 月 27 日	2006 年 10 月 30 日	2006 年 10 月 31 日

c) 放散試験結果

	試験項目	放散速度(μg/m²·h)
		1 日
c)	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	ND(<2.5)
	ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	ND(<2.5)
	ﾄﾙｴﾝ	ND(<1.3)
	o-, m-, p-ｷｼﾚﾝ	ND(<1.3)
	ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ND(<1.3)
	ｽﾁﾚﾝ	ND(<1.3)
	p-ｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ND(<1.3)
	ﾉﾅﾅｰﾙ	ND(<1.3)
	ﾃﾄﾗﾃﾞｶﾝ	ND(<1.3)
	DBP	ND(<1.3)
	DEHP	ND(<2.5)
	TVOC	78

d) 品質管理／品質保証

	試験項目 (定量ｲｵﾝ)	試験濃度(μg/m³)	ﾄﾗﾍﾞﾙﾌﾞﾗﾝｸ濃度(μg/m³)	ﾊﾞｯｸｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ濃度 (μg/m³)
		1 日	1 日	
d)	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	3.7	2.8	2.2
	ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	3.9	2.3	3.6
	ﾄﾙｴﾝ(92)	ND(<1.0)	ND(<1.0)	ND(<1.0)
	o-, m-, p-ｷｼﾚﾝ(106)	ND(<1.0)	ND(<1.0)	ND(<1.0)
	ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ(106)	ND(<1.0)	ND(<1.0)	ND(<1.0)
	ｽﾁﾚﾝ(104)	ND(<1.0)	ND(<1.0)	ND(<1.0)
	p-ｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ(146)	ND(<1.0)	ND(<1.0)	ND(<1.0)
	ﾉﾅﾅｰﾙ(41)	ND(<1.0)	ND(<1.0)	ND(<1.0)
	ﾃﾄﾗﾃﾞｶﾝ(57)	ND(<1.0)	ND(<1.0)	ND(<1.0)
	DBP(149)	ND(<1.0)	ND(<1.0)	ND(<1.0)
	DEHP(149)	ND(<2.0)	ND(<2.0)	ND(<2.0)
	TVOC	62	ND(<2.0)	8.2

e)ﾃﾞｰﾀ分析

e)	ﾃﾞｰﾀ分析	JIS A1901 12.放散速度の算出及び結果の表現方法に基づいた。 試験片を小形ﾁｬﾝﾊﾞｰに入れてから測定を開始した経過時間tにおける単位面積あたりの放散速度EFaは下記の式による。小形ﾁｬﾝﾊﾞｰ濃度Ctは経過時間tにおける対象VOC、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、またはTVOCの濃度を示し、Ctb,tは経過時間tにおけるﾄﾗﾍﾞﾙﾌﾞﾗﾝｸ濃度を表す。Qは換気量(m³/h)、Aは試験片の表面積(m²)を表す。 $EFa = \frac{(C_t - C_{tb,t}) \times Q}{A}$

f)試験条件

f)	温度(℃)	相対湿度(%)	換気回数(回/h)	物質伝達率(m/h)
	28±1	50±5	0.5±0.05	−
	ﾁｬﾝﾊﾞｰ容量(L)	試験片表面積(cm²)	試料負荷率(m²/m³)	ｼｰﾙ工程の有無
	20	80	0.4	無
	VOC捕集条件		ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及び他のｶﾙﾎﾞﾆﾙ化合物	
	捕集管	空気捕集量(L)	捕集管	空気捕集量(L)
	Supelco製 TENAX-TA	3.2(標準) 0.3(高濃度成分用)	GL Sciences製 GL-Pak mini AERO DNPH	10

g)測定機器

g)	小形ﾁｬﾝﾊﾞｰ		ADTEC ADPAC SYSTEM 20L	
	空気清浄装置		新菱ｴｺﾋﾞｼﾞﾈｽ 超清浄空気供給装置UCAX	
	温度・湿度制御装置等		ADTEC ADPAC SYSTEM	
	恒温槽		ﾔﾏﾄ科学 IN801,802 ADTEC ADI-110HL	
	ｵｰﾌﾞﾝ		ｴｽﾍﾟｯｸ 恒温器PHH201	
	空気捕集装置		ADTEC ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞﾎﾟﾝﾌﾟ	
	分析装置	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及び他のｶﾙﾎﾞﾆﾙ化合物	高速液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ	Waters製Alliance(2695型ｾﾊﾟﾚｰｼｮﾝﾓｼﾞｭｰﾙ)
			検出器	2487型UV検出器(360nm)
		VOC(ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、その他、TVOC)	加熱導入装置	PerkinElmer TurboMatrix ATD
			ｶﾞｽｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ質量分析計	GC:Agilent Technologies 6890N MS:Agilent Technologies 5973N

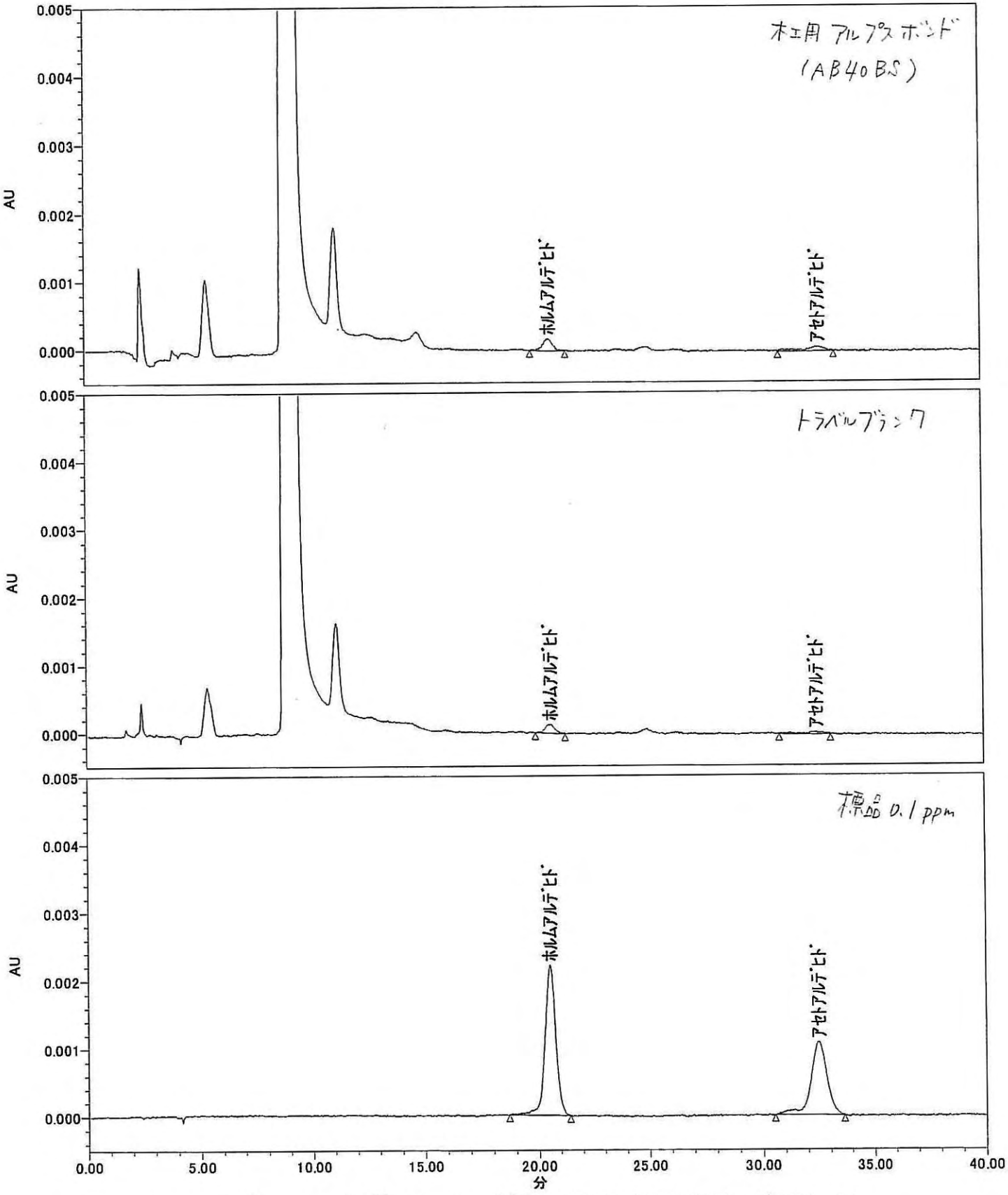
h)追加事項

h)	試験片数	単位面積あたりの質量	厚み	基材の種類
	1	300g/m²	−	SUS板
	塗布量(g)	塗布面積(cm²)	塗布方法	ｵｰﾌﾟﾝﾀｲﾑ
	2.40	80	へら	60min.
	塗布回数(回)	塗布時の室温(℃)	塗布時の湿度(%)	混合比
	1	23.1	60	−
	備考：			

Empower

DNPH レポート

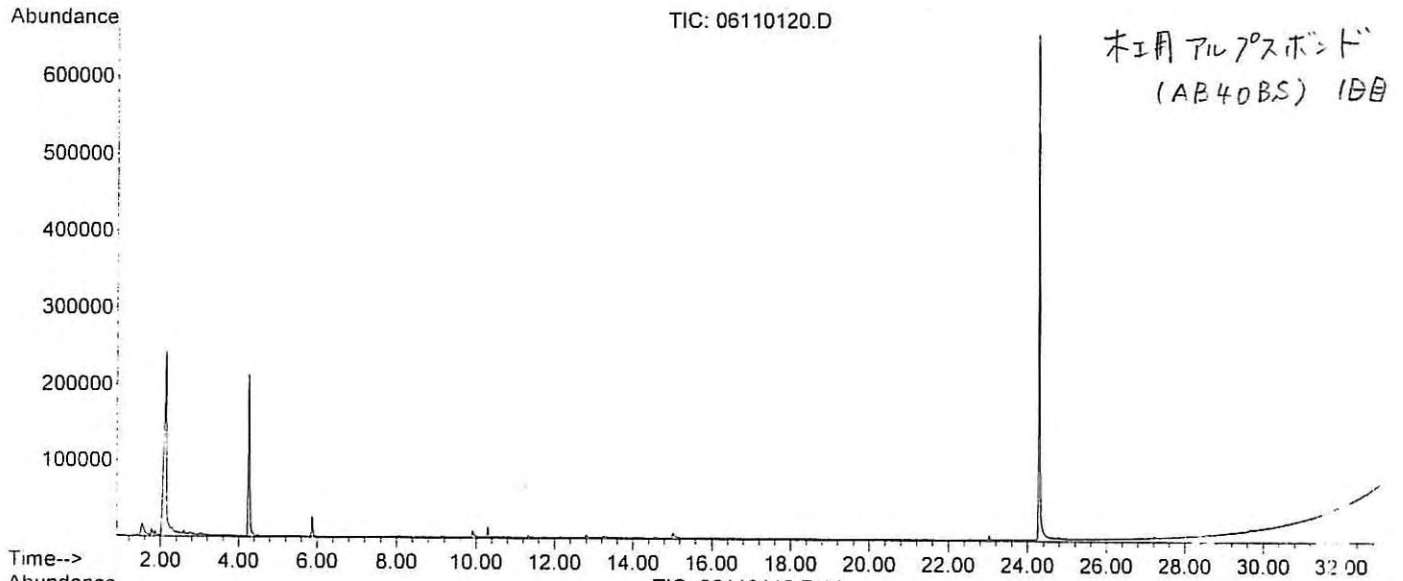
レポート作成者 System　　プロジェクト名 DNPH測定　　Operater Y.Otsuka

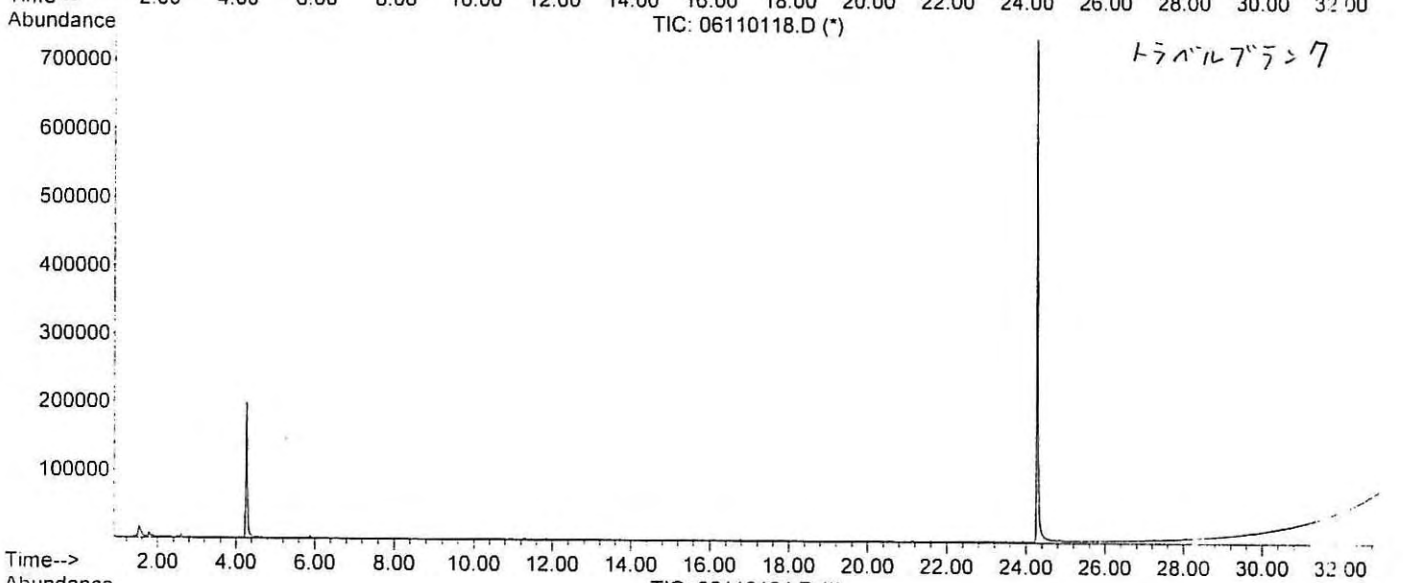


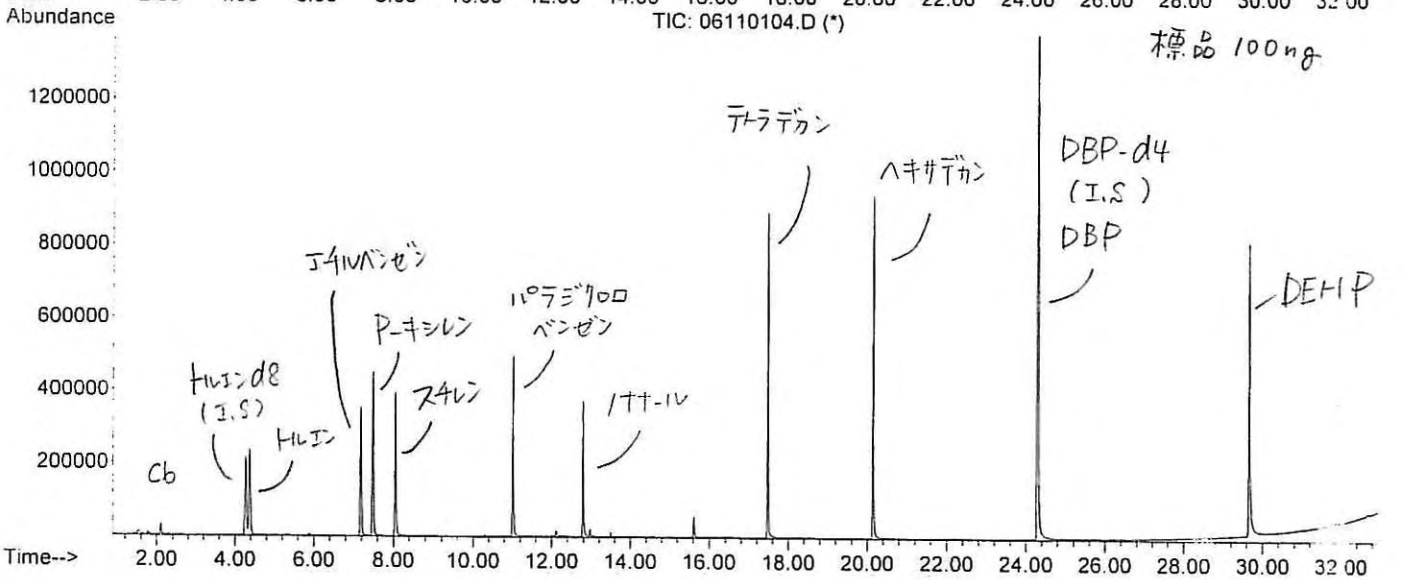
——— 11/1　(1日目) Sample;　分析日: 2006/11/02 14:07:18;　バイアル: 30
——— 11/1　T.B;　分析日: 2006/11/02 13:16:30;　バイアル: 29
——— 11/1　0.1ppm;　分析日: 2006/11/02 10:43:54;　バイアル: 4

添付資料 1

File :C:\MSDChem\1\DATA\SICK\061101\06110120.D
Operator : S.Usui
Acquired : 2 Nov 2006 1:49 using AcqMethod ATDNEW.M
Instrument : Instrument #1
Sample Name: 06110120
Misc Info : 11/1 Sample (1Day,3.2L) X30364
Vial Number: 20







添付資料 2